

島根県隠岐の島町へ軽消防自動車を贈呈

～隠岐の島町・池田町長から島根損保会・藤中会長に謝辞～

日本損害保険協会島根損保会（会長：藤中麻里子・損害保険ジャパン株式会社山陰支店長）では、2022年度に全国の自治体に贈呈する軽消防自動車14台のうち1台が島根県隠岐の島町 島後に配備されることが決定したため、12月15日（木）に隠岐の島町役場で贈呈式を開催しました。

贈呈式では、藤中会長から隠岐の島町 池田 高世偉 町長に目録とレプリカキーを手渡しました。また、藤中会長は「贈呈した軽消防自動車が、万が一の際に、その性能をいかに発揮し、隠岐の島町の皆さまの生命と財産を守ることに役立てていただけることを祈念している」と述べました。次いで、池田町長から、藤中会長に謝辞がありました。

当支部では、引き続き、地域の防災力強化支援に取り組んでまいります。

（参考）

- ・2022年度は、全国7市町村（離島を除く）および離島7市町村に軽消防自動車14台を寄贈。
- ・全国の消防力の強化・拡充に協力するため、今年度寄贈分を含め、消防自動車等を1952年度から全国の市区町村（離島を除く）に2,751台、1982年度から離島に752台寄贈しており、累計寄贈台数は3,503台。
- ・今回寄贈する軽消防自動車の特徴：
軽四輪駆動車をベースとし、悪路での走行や狭い道路での消火活動に機動的に対応することができ、迅速な初期消火・初期救命が可能な軽消防自動車です。



藤中会長（左）から池田町長（右）に目録贈呈



贈呈した軽消防自動車の前で記念撮影